



公立置賜総合病院

平成29年10月
第 50 号

医療連携だより

公立置賜総合病院医療連携・相談室 ☎0238-46-5000 内線 1902, 1409

「地域包括ケアのための医療・介護の連携強化」

置賜広域病院企業団 企業長 中山順子

日頃より各医療機関及び関係機関の皆様には、当企業団の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年4月から地方公営企業法の全部適用により置賜広域病院企業団として新たなスタートを切りました。より自律的で機動的な病院運営を実現し、人口減少や医療制度改革等の環境変化に対応してまいりたいと考えております。

具体的な取組みの第一歩として、定数条例の改正により医療スタッフ等の増員が可能となったことから、置賜総合病院においては7月末に病棟再編を行い、7：1看護体制への移行を進めているところです。このことにより、高度急性期医療を担う基幹病院としての位置づけを明確にし、より質の高い医療の提供を目指してまいります。

また、老朽化が進んでいるサテライト医療施設については、急性期後の回復期患者の受入れを強化し、併せて、在宅医療を支援する機能の充実を図るため、改築整備に向け準備を進めているところです。2025年を見据えて策定された山形県地域医療構想では、前述した病床機能の役割分担とともに、在宅医療を支えるサービスの提供体制の整備が課題となっています。

在宅医療については、入院時から在宅療養までの円滑な移行ができるよう、病院での退院支援の充実や退院後の診療所、訪問看護、介護施設等との連携体制の構築が重要です。



このため、市町には、地元医師会等と連携しながら、来年4月までに在宅医療・介護連携のための拠点を設置し、医療・介護関係者による情報共有や研修の実施、住民への啓発等に取り組むことが求められています。

これまで、置賜総合病院では地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進やOKI-netによる医療情報の共有化などを進めてきました。

現在、各市町（または共同）で在宅医療・介護連携拠点の設置に向け準備が進んでいると聞いておりますが、今後は更に多職種連携の促進や、訪問看護ステーションの機能拡充（24時間体制、専門性の強化）等につなげていくことが期待されます。

当企業団としても、総合病院とサテライト施設それぞれの機能を活かしながら、地域包括ケアの一翼を担うべく取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

特集：就任あいさつ

企業長

中山順子 ……1

医療連携登録医総会
開催報告

……2～3

病院祭り報告

……4

公立置賜総合病院 登録医総会 開催



日時:平成 29 年 9 月 30 日(土)
 時間:16:00~
 場所:公立置賜総合病院 研修室

秋の深まる中、年に 1 回行われる登録医総会を開催しました。置賜地域において医師 121 名、歯科医師 100 名の先生方が、登録医として当院と紹介・逆紹介はじめ多くの連携を図っていただいていることに感謝申し上げます。



会議では各種統計報告およびに、特別講演会が行われ、質疑、意見交換が行われました。その中で「置賜総合病院だけが主治医という場合がある。ぜひ置賜総合病院以外にもかかりつけ医を作ってほしい。大した症状でなくても総合病院（救急）に受診しなければならなくなる」といった意見をいただきました。置賜総合病院からご紹介して、地域との連携に努めてまいります。

登録医数	長井市	飯豊町	白鷹町	小国町	南陽市	川西町	高畠町	米沢市	計
医師	28	2	5	7	39	4	17	19	121
歯科医師	19	2	4	1	13	6	13	42	100

OKI-net 登録施設

平成 29 年 9 月末現在

公開・参照施設数	病院	医科診療所	歯科診療所	介護施設	訪問看護	調剤薬局	総数	備考
長井市西置賜郡	4	12	1	3	3	0	23	
南陽市東置賜郡	5	23	2	2	2	4	38	
米沢市	5	23	2	2	1	1	34	
その他(置賜地域外)	3	0	0	0	0	0	3	山大・日本海・県中
全体	17	58	5	7	6	5	98	

特別講演会

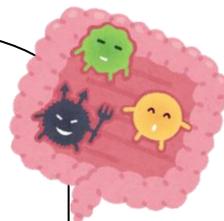
『腸内細菌の視点から切り込む健康指導

～患者さんからの質問に、どう答え、どう導いていきますか？～』



公立置賜総合病院
消化器内科診療部長
(兼) 医療連携副部長
渡辺 晋一郎 先生

腸内細菌は指紋と同じで個々人で違い、人を特徴づけるとされます。食事、飲酒、ストレス、便秘異常、体調でも変化していきます。腸内を「いい菌環境」に保つことが『健康』の鍵になることが明らかとなってきました。そのためには食物繊維を不足なく摂取すること、自律神経のバランス、乱れを意識することが大切です。便微生物移植療法(糞便移植)も紹介しました。多くの日本人は、勤勉さゆえに交感神経が過剰に高ぶった状態にあり、それが病気を生んでいます。健康指導のキモは自律神経の乱れを、そして食生活の問題点を意識してもらうことです。



『置賜地域大腿骨頸部骨折地域連携パスの運用と課題』

大腿骨頸部骨折の分類と治療の説明を前段に、置賜地域で平成19年からクリニカルパスを作成し地域連携してきた経緯を紹介。急性期病院3施設、連携病院7施設がパス参加し連携を図っている。骨折後の問題として次の骨折リスクが3倍、1年後の死亡率は10%ということで、再骨折予防が重要となる。骨粗鬆症の診断、治療が必要で、ぜひ当院の骨密度検査も活用いただきたい。



公立置賜総合病院
整形外科診療部長
(兼) 医療連携副部長
大樂 勝之 先生



総会後に懇親会を開催
in 風のうた



懇親会

昨年まで病院内の懇親会でしたが、今年は病院外でお酒をくみかわして、より懇親が深められる機会となりました。多くの先生方に参加いただけるよう、企画に工夫を重ねてまいります。



医療連携・相談室からのお知らせ

おきたま病院 健康まつり 2017

& 救急フォーラム置賜 2017

平成 29 年 9 月 23 日 (土)

公立置賜総合病院 於

公立置賜総合病院

〒992-0601
山形県東置賜郡川西町
大字西大塚 2000 番地

TEL:
0238-46-5000

予約センターTEL:
0238-46-5700

FAX:
0238-46-5722

E-MAIL:
renkei@okitama-hp.or.jp



病院理念
心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院企業団

公立置賜総合病院

今年も健康祭りにたくさんのご参加、ご協力をいただき感謝申し上げます。幼稚園児による太鼓演奏のオープニング、各種健康測定、相談、AED 体験や講演などが催され、さらに健康を見直す機会となったのではないのでしょうか。

今後も地域の拠点となり、皆様に親しまれる病院となれるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

市民公開講座のお知らせ

- ◇ 平成 29 年 10 月 28 日(土) 13 時 30 分~15 時
- ◇ 南陽市 えくぼプラザにて
- ◇ 演題 「認知症ケアの理解と援助」
- ◇ 講師 下村 裕見子氏
- ◇ 無料 *詳しくは当院 Hp をご覧ください

置賜の明日の医療を考える市民公開講座を開催いたします。
多くの方のご参加をお待ちしています。

あとがき

H30年は診療報酬と介護報酬の同時改定。地域包括ケアシステム構築、医療従事者の負担軽減の2点に重きを置かれるともいわれます。

秋は研修会の開催も多く、地域内で顔の見える関係を深めていきたいものです。